

機織り体験教室

【団体名】はたごっこ

【担当部署】教育部 学校教育課

【提案型】自由テーマ

【協働の形態】補助

1. 事業の目的

蕨伝統の綿織物文化を継承し、その知識を習得して、広く後世に伝え発展させていく。

2. 実施内容

市内全小学校で機織り体験教室を実施

対 象：3年生 計451人

日 程：平成25年 12月 6日（金）塚越小学校
12月10日（金）南小学校
平成26年 2月 7日（金）中央小学校
2月10日（月）東小学校
2月12日（水）北小学校
2月20日（木）中央東小学校
2月21日（金）西小学校



内 容：社会科における「くらしのうつりかわりの学習」や総合的な学習の時間における「郷土に関する学習」で実施。機織り用の糸作りのための布裂きや機織りの実技体験を通して、児童に伝統的な技術や織物文化の歴史を伝承した。

3. 役割分担

- (1) 団体：機織り体験教室開催
- (2) 市：広報

4. 事業費と主な支出内容

- (1) 事業費：総額 320,129 円（うち蕨市協働事業補助金 298,480 円）
- (2) 支出の主な内容
備品、消耗品、機織り機等修理料

5. 協働による効果

【はたごっこ】

全校での実施。

【学校教育課】

3年生の社会科と総合的な学習の時間の中で、蕨の歴史と機織りの関係を実際に体験しながら学習できた。布裂きからの体験等は担任の教諭だけではできないことなので、学校としてもとても有意義だった。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【はたごっこ】

かつて栄えた蕨の綿織物について、広く知識を習得することができたことで、伝統的な機織り技術や裂き織などの織物文化を学べただけではなく、児童たちにふるさと蕨を語り誇れる自信をつけるきっかけとなった。概ねスムーズに実施することができたが、今後は各校の教務主任との事前打ち合わせを増やすなど、学校からの要望も取り入れたうえで実施していきたい。

【学校教育課】

今後の課題は、機織り機の台数が1台のため、児童1人当たりの実際に機織り体験をする時間が短い。また、学校では年間指導計画が前年度の3月末には確定しているが、年度途中で協働事業が決定するため、学習計画を変更し、体験を組み込むことになるが、校内での調整が難しい。